

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	管楽器業界演習Ⅲ	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	7回(28単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
楽器業界の企業による製品・技術セミナーや学園祭での接客演習、リクルートセミナー					
到達目標					
楽器の専門知識の実践と、実際の応用方法を理解する					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	楽器業界の企業による製品・技術セミナー
【後期】 1～2回目	学園祭：準備日①②
【後期】 3～4回目	学園祭：出店での接客実演とリペア実演①②
【後期】 5回目	学園祭：片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実際に仕事を体験することで、進路に対しての興味を持ち積極的な行動ができるよう努めること。
使用教科書	適宜資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	木管楽器修理概論	授業形態 / 必・選	講義	選択
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒			
担当講師 実務経歴				
授業概要				
基礎的な調整を理解したうえでの、実践方法、作業手順の組み立て、考え方などの応用法を、講師による修理実演や動画も使用して解説。				
到達目標				
どんな状況でも修理対応ができる基礎力と、さまざまな楽器への応用力の修得。				

授業計画・内容	
1回目	フルート/クラリネット 連動調整1
2回目	木管楽器 連動・バランス調整
3～4回目	フルート/クラリネット 連動調整2
5回目	クラリネット レジスターキータンポ交換、リング高さ調整
6～7回目	バネ交換・調整、作動不良調整
8～10回目	フルート アゴ調整、ラックタンポ交換、ヘッドコルク交換、調整ネジ
11回目	吹奏検品
12～15回目	サクソ 連動調整、ネックコルク交換
16～17回目	フルート キーコルク交換、ノックピン調整、リングキータンポ交換
18～19回目	木管楽器 作動調整
20回目	ダブルリード調整
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	常にその楽器をイメージすることと、他楽器での応用までを考えて取り組むこと。修理が必要な楽器の状態はさまざまで、短時間で判断して作業工程を組み立てる必要があるため、管楽器リペア実習とともに繰り返し考察することが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	金管楽器修理概論	授業形態 / 必・選	講義	選択
授業時間	90分(1単位時間45分)	年次	1年次	
	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒			
担当講師 実務経歴				
授業概要				
基礎的な調整を理解したうえでの、実践方法、作業手順の組み立て、考え方などの応用法を、講師による修理実演や動画も使用して解説。				
到達目標				
どんな状況でも修理対応ができる基礎力と、さまざまな楽器への応用力の修得。				

授業計画・内容	
1回目	ハンダ付け セッティング、マウスパイプ交換
3～5回目	ヘコ出し
6回目	ホルン ストッパー交換
7回目	トロンボーンスライド停止帯コルク交換
8回目	固着修理
9回目	トロンボーンスライド調整
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	常にその楽器をイメージすることと、他楽器での応用までを考えて取り組むこと。修理が必要な楽器の状態はさまざまで、短時間で判断して作業工程を組み立てる必要があるため、管楽器リペア実習とともに繰り返し考察することが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	修理実践論	授業形態 / 必・選	講義	選択				
		年次	1年次					
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数 1単位				
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース							
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒							
担当講師 実務経歴								
授業概要								
故障の原因を究明し、その修理方法を理論的に検証したうえで、如何に修理するかを解説する。								
到達目標								
実践的な修理の方法論の修得。								

授業計画・内容	
1回目	熱処理
2回目	木製管体修正
3回目	木管楽器調整
4回目	フルート調整
5回目	ピッコロ調整
6回目	サクソ調整
7回目	ダブルリード調整
8回目	金管楽器調整
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	常にその楽器をイメージし、他の楽器、構造での応用を考えて取り組むこと。ユーザーの要望に応えるための広範な知識として学ぶ必要がある。木管楽器、金管楽器修理概論を元にした講義のため、その内容は理解しておく必要がある。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	商品知識	授業形態 / 必・選		講義		選択						
		年次		1年次								
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数		2単位						
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース											
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目											
	該当 ☐ 非該当 ☒											
担当講師 実務経歴												
授業概要												
フルート・クラリネット・サクソ・トランペット・ホルン・トロンボーン・ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット・マーチングブラス・アクセサリーの楽器・製品解説。												
到達目標												
楽器の特徴・メカニズム・システムから、メーカーごとの特徴や売りなど、販売・修理知識の修得。												

授業計画・内容	
1～2回目	フルート概要・製品解説
3～4回目	クラリネット概要・製品解説
5～6回目	サクソ概要・製品解説
7～8回目	トランペット概要・製品解説
9～10回目	ホルン概要・製品解説
11～12回目	トロンボーン概要・製品解説
13回目	ユーフォニウム概要・製品解説
14回目	チューバ概要・製品解説
15回目	オーボエ概要・製品解説
16回目	ファゴット概要・製品解説
17回目	マーチングブラス概要・製品解説
18回目	アクセサリー製品解説
19回目	マウスピース概要・製品解説
20回目	リード概要・製品解説 リガチャー概要・製品解説
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	異なる楽器でもその特徴などは類似する点が多いので、常に関連付けて考えられるように取り組むこと。講義だけでは活きた情報にはならないので、自ら楽器店などでその製品の特長などを観察・試奏することも重要になる。
使用教科書	「管楽器価格一覧表」ミュージックトレード社、各メーカーカタログ

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	学販商品知識	授業形態 / 必・選	講義	選択				
		年次	1年次					
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数 1単位				
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース							
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒							
担当講師 実務経歴								
授業概要								
各楽器の歴史・種類・名称・メカニズム・材質からメーカーの歴史・特徴・主要機種・定番機種などを学ぶ。								
到達目標								
学校販売で扱う教育楽器等のうち、管楽器以外の楽器についての販売知識の修得。								

授業計画・内容	
1回目	リコーダー概要・製品解説 ハーモニカ概要・製品解説
2回目	鍵盤ハーモニカ概要・製品解説 アコーディオン概要・製品解説
3回目	和楽器概要・製品解説 電子楽器概要・製品解説
4～5回目	ピアノ概要・製品解説
6回目	バイオリン概要・製品解説
7～9回目	ギター概要・製品解説
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	楽器店での販売営業、外販営業知識として学ぶが、単に知識としてだけではなく、顧客にとって最良の商品をいかに勧めるか、その選択肢を提示するかをイメージして取り組むこと。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	フルート修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～414回(30～828単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験:14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
フルート修理の実践。					
到達目標					
フルート修理の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【前期】and【後期】 1～207回目 ※個人の選択によって回数変動	作動調整
	タンポ調整
	連動調整
	管体修正・へこみ直し
	溶接(ハンダ・銀ロウ)
	ピッコロ調整
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	クラリネット修理	授業形態 / 必・選	実習	選択
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～414回(30～828単位時間)	1年次
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐			
担当講師 実務経歴	実務経験:14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。			
授業概要				
クラリネット修理の実践。				
到達目標				
クラリネット修理の精度・速度の向上。				

授業計画・内容	
【前期】and【後期】 1～207回目 ※個人の選択によ って回数変動	作動調整
	タンポ調整
	連動調整
	管体修正
	バスクラリネット調整
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	サキソフォン修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～414回(30～828単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験:14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
サキソフォン修理の実践。					
到達目標					
サキソフォン修理の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【前期】and【後期】 1～207回目 ※個人の選択によって回数変動	作動調整
	タンポ調整
	連動調整
	管体修正・へこみ直し
	溶接(ハンダ・銀ロウ)
	ソプラノ・バリトン調整
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	トランペット修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～414回(30～828単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験:14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
トランペット修理の実践。					
到達目標					
トランペット修理の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【前期】and【後期】 1～207回目 ※個人の選択によって回数変動	管体清掃・磨き
	ピストン調整
	抜差管調整
	へこみ直し
	溶接(ハンダ・銀ロウ)
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	トロンボーン修理	授業形態 / 必・選	実習	選択
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～414回(30～828単位時間)	1年次
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐			
担当講師 実務経歴	実務経験:14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。			
授業概要				
トロンボーン修理の実践。				
到達目標				
トロンボーン修理の精度・速度の向上。				

授業計画・内容	
【前期】and【後期】 1～207回目 ※個人の選択によって回数変動	管体清掃・磨き
	スライド調整
	ロータリー調整
	抜差管調整
	へこみ直し
	溶接(ハンダ・銀ロウ)
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ホルン修理	授業形態 / 必・選	実習	選択
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～414回(30～828単位時間)	年間単位数 1～27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐			
担当講師 実務経歴	実務経験:14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。			
授業概要				
ホルン修理の実践。				
到達目標				
ホルン修理の精度・速度の向上。				

授業計画・内容	
【前期】and【後期】 1～207回目 ※個人の選択によ って回数変動	管体清掃・磨き
	ロータリー調整
	拔差管調整
	へこみ直し
	溶接(ハンダ・銀ロウ)
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	特殊楽器修理	授業形態 / 必・選		実習 選択						
		年次		1年次						
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～414回(30～828単位時間)	年間単位数	1～27単位					
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐									
担当講師 実務経歴	実務経験:14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。									
授業概要										
ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット修理の実践。										
到達目標										
ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット修理の精度・速度の向上。										

授業計画・内容	
【前期】and【後期】 1～207回目 ※個人の選択によって回数変動	ユーフォニウム修理
	チューバ修理
	オーボエ修理
	ファゴット修理
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	金属加工	授業形態 / 必・選	実習	選択	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～414回(30～828単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験:14年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
ヤスリ、ノコなどの工具の扱いを学び、楽器修理工具の製作や、機械工具使用方法、パーツ製作を学ぶ。					
到達目標					
金属加工の方法論や、材質の特性などを理解、工具、パーツの製作技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】and【後期】 1～207回目 ※個人の選択によって回数変動	基礎金属加工:金属材料の加工
	ボール盤・旋盤・グラインダー加工
	楽器工具製作:タンポヘラ製作
	楽器工具製作:ペンチ加工
	楽器工具製作:その他調整工具製作
	楽器パーツ製作
	彫金基礎:指輪等の製作
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	完成形のイメージと作業計画をしっかり持って取り組むこと。そのためには、楽器の構造、パーツ、材質なども理解しておく必要がある。楽器のカスタマイズやパーツ製作に必要な知識にもなる。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択前期ウインドアンサンブルⅢ	授業形態 / 必・選	実習	選択	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験 35年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～18回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択前期木管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験 19年 ライブやコンサート出演のほか、劇伴、CM、ドラマ、アルバムレコーディング、コンサートサポートなどに参加。				
授業概要					
木管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～18回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択前期金管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験 21年 ライブサポート、レコーディング、パーティ、テーマパーク、学校公演などさまざまな現場で活動中。				
授業概要					
金管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～18回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択前期ビッグバンドアンサンブルⅢ	授業形態 / 必・選	実習	選択
		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐			
担当講師 実務経歴	実務経験 19年 学生時代より、ライブやTVでの仕事を始める。2006年メジャーデビュー。その後、アンサンブルやジャズ奏法のレッスンにも力を入れる。現在、トラック制作や、ナレーションの仕事にも携わっている。			
授業概要				
ビッグバンド楽曲の合奏。				
到達目標				
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。				

授業計画・内容	
【前期】 1～18回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択後期ウインドアンサンブルⅢ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	22回(44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験 35年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～22回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択後期末管室内楽Ⅲ	授業形態 / 必・選	実習	選択	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	22回(44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験 19年 ライブやコンサート出演のほか、劇伴、CM、ドラマ、アルバムレコーディング、コンサートサポートなどに参加。				
授業概要					
木管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～22回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択後期金管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	22回(44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験 21年 ライブサポート、レコーディング、パーティ、テーマパーク、学校公演などさまざまな現場で活動中。				
授業概要					
金管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～22回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択後期ビッグバンドアンサンブルⅢ	授業形態 / 必・選	実習	選択
		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	22回(44単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐			
担当講師 実務経歴	実務経験 19年 学生時代より、ライブやTVでの仕事を始める。2006年メジャーデビュー。その後、アンサンブルやジャズ奏法のレッスンにも力を入れる。現在、トラック制作や、ナレーションの仕事にも携わっている。			
授業概要				
ビッグバンド楽曲の合奏。				
到達目標				
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。				

授業計画・内容	
【前期】 1～22回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布